

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する審査会合への対応について（島根2号機）
2. 日時：令和2年6月10日 15時00分～15時15分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※…TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

川崎安全管理調査官、義崎管理官補佐、角谷安全審査官※、照井安全審査官

事業者：

中国電力株式会社 電源事業本部 担当部長 他7名※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、令和2年6月9日（火）の審査会合（第866回公開会合 議題2：中国電力（株）島根原子力発電所2号炉の重大事故等対策について）において議論された事項について確認があった。

(2) 原子力規制庁は、提示した資料に示す項目について以下を補足するとともに、当該申請内容を引き続き確認していく旨を伝えた。

- ブローアウトパネルの数を3個から2個に変更することによる既許可の添付書類十の解析への影響については、主蒸気管破断事故時において主蒸気隔離弁が閉止するタイミングも含めて、解析条件を整理して説明すること。
- ISLOCA発生時に漏えい箇所の確認に使用する設備について、重大事故等対処設備と自主対策設備が混在しているため、設備の信頼性を踏まえて使用する設備の優先順位等を整理して説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、了解した旨の回答があった。

6. 配布資料

規制庁配布資料

- ・原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第866回）中国電力株式会社に関する指摘内容

事業者配布資料

- ・原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第866回）島根原子力発電所2号炉に関する指摘内容